

緊急各分会代表者会議



2021年度の年末手当について11月18～19日を山場として鹿児島地方本部として各分会より檄布・FAX行動を展開し、山場に於いては、鹿児島地方本部より4名で激励行動も展開してきた。中央本部に4名の方々から年末手当に関する率直な意見を訴えてきた。しかし、山場に於いて会社の態度は、「年末手当が社員の生活に与える影響が非常に大きいことを踏まえた上で、慎重に検討を進めているものの、現時点では回答を示すことは困難」として回答を示さなかった。

激励に行かれた4名の方々に感謝申し上げます。

11月23日(火)緊急分会代表者会議を開催し、本部より吉田書記長が来られ、今までの経緯の説明を貰った。

緊急であったものの各分会から代表者が集まり代表者から現場の切実な意見を貰った。現場では、組合員の頑張りがあることで会社は成り立っている。若年層の退職者も増えている中、雇用を守る為にも納得のできる回答が必要である。ここが最大の踏ん張りどころである。

代表者からの思いを中央本部に持ち帰り指定日の最後の最後まで闘い抜くことを吉田書記長が約束した。



【緊急代表者会議の主な意見】

これ以上若年層の離職を止めるには、年末手当は当然必要である。何のためにBPRプロジェクトに取り組んでいるのか。組合員の頑張りを見ているのか。会社は社員をどう見ているのか。将来設計が見通せない。魅力ある会社とは、何か。貸付は結局借金である。貸付が無いような支払月数を取るべきである。

安定した期末手当を支払うべきだ！